

サプライチェーンマネジメント

RAIMAT (スペイン)

スペインワイン「ライマツ」の技術はワインの品質を最大限に引き上げると同時に、CO²削減や再生可能エネルギーの使用など環境への影響を最小限に抑えています。100年以上にわたりライマツが行ってきた栽培方法はサステナビリティな生産として高く評価されており、カタルーニャ州におけるサステナブルな生産の認証および環境保護推進ワイナリーの認証を取得しています。

また、ライマツが保有する EU 最大規模の自社畑[※]では、全ての畑で EU オーガニック認証を取得しており、今後、スペインにおけるオーガニックワインのリーディングメーカーとなりゆく注目の生産者です。

※単一オーナーが所有するブドウ畑



クラモール オーガニック
赤・白・ロゼ



カタルーニャ評議会の統合生産
(持続可能なブドウ栽培とワイン生産)



ヴィーガン対応
(白・ロゼ)



EUオーガニック認証(ユーロリーフ)
(一部のブドウ畑とワイン)



WICP
(環境保護推進ワイナリー)

LINDEMAN'S



左：ピン 65 シャルドネ 白

中：カワラ シラズ・カベルネ 赤

右：ジェントルマンズ・コレクション カベルネ・ソーヴィニヨン

オーストラリアワインの「リンデマンズ」は英国カーボントラスト社によるカーボンニュートラルに関する唯一の国際規格である PAS 2060 を取得しています。

温室効果ガス 0 を目指し、美しい地球を後世に繋げる取り組みが国際機関によって証明されている信頼のブランドです。

世界中の二酸化炭素排出量を削減するための誓約の一環としてワインの調達、生産、瓶詰め、流通の方法を改善しています。

KWV（南アフリカ）

南アフリカのワイン産地は、90%以上がケープタウン周辺にあり、2004年にこの地区の一部がケープ植物区保護地域群として世界遺産に認定されました。

同国は「環境と調和したワイン生産」に関する世界で最も厳しいガイドラインを制定しています。これに基づいてKWVの商品全てに「持続可能な南アフリカワインの認定シール」が貼付けられています。このシールの番号から生産者や瓶詰め日などの情報を得ることができる追跡体制が整っており、このような追跡システムを採用しているのは、ワイン業界では世界で南アフリカだけです。

また、倫理的な労働環境の保護組織「WIETA」の認証も取得しておりサステナビリティに配慮されたブランドとなっています。



左：カセドラル・セラーシャルドネ 白
中：コンコルディア 赤
右：ラボリースパークリングブリュット 白

上：持続可能な南アフリカワインの認定シール
下：倫理的な労働環境の保護組織 WIETA の認証

トニーズチョコロンリー

国分グループ本社が販売代理店となっているベルギー産、オランダ発のチョコレート、トニーズチョコロンリーはカカオなどの原材料を主にフェアトレード※認証を受けたものを使用しています。自社商品だけでなく世界中のチョコレートが「100%強制労働や違法な児童労働に頼らないカカオから作られたチョコレート」となることをミッションとし、活動を行っています。

※フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。



地域社会／社会貢献

GI 焼酎 + 奄美黒糖焼酎

国分グループでは SDGs への取り組み強化の施策として、専売商品の GI 焼酎で、各メーカー様と共に 1 本につき 10 円を自然との共生を目指した各環境保護団体へ寄付する活動を実施しています。

これらを通じ、GI 焼酎※の認知度向上と環境保全活動への支援を継続していきます。

※GI 焼酎（焼酎の地理的表示）とは、地域の共有財産である「産地名」の適切な使用を促進する制度。その地域特有のお酒の味わい等を公的に定めており、現在は「杵崎焼酎」「琉球焼酎」「琉球泡盛」「薩摩焼酎」の 4 つの銘柄がある。



商品を通じた寄付活動

国内の産地を限定し、原料にこだわった『にっぽんの果実』シリーズでは EVI※を通して商品 1 缶につき 1 円を森の健全化に寄付する活動をおこなっております。また、国分北海道はシマフクロウが生息できる環境保全のため、2018 年 2 月に立ち上げた酒類オリジナルブランド「島泉（シマフクロウ）」の売り上げ金の一部を「特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会」に寄付しています。

※EVI とは、2011 年 3 月にスタートした、『森林事業者』と『企業』と『消費者』をカーボン・オフセットでつなぐ環境貢献プラットフォーム「Eco Value Interchange」の略称です。国内クレジットの流通とカーボン・オフセットの取り組みを活性化させ、日本の森林保全を推進し日本の森と水と空気を守る活動を行っています。



左：北海道熟成 30 年

右：原酒ノンチルフイルタードシングルバレル

「こどもスマイリング・プロジェクト」への参加

～未来を担う子どもたちに 食の大切さと楽しさの学びの場を～

私たちは食品卸売業として、生活者へ食にまつわる情報を正しく伝え、理解を深めていただくことが責務であると考えています。2021年12月、大阪市西淀川区にて、株式会社セブン-イレブン・ジャパンと共同で、公益財団法人日本財団の助成による「こどもスマイリング・プロジェクト」を実施しました。今回が2回目となる「こどもフードエシカルマスター講座」は、子ども食堂に通う子どもたちを対象とした、エシカル消費を通じた職業体験プログラムであり、体験学習を通して、食品流通のしくみや食品ロス、エシカル消費について学ぶものです。コンビニの店員さんになりきり、商品陳列の体験をしたり、食品流通や栄養バランスに関するワークシートに挑戦したりと、食に関するさまざまなプログラムを体験してもらいました。終了後、子どもたちが体験学習の感想だけでなく、次に起こすべきアクションを宣言する様子が印象的でした。



食品流通や栄養バランスに関するワークシートに挑戦する子どもたち

フードバンクの取り組み

まだ食べられるにもかかわらず、諸事情により廃棄されてしまう食品について、フードバンク団体への寄贈を実施しています。食品を扱う事業者として、量の多少にかかわらず「もったいない」を基本に、取り組みを進めております。地域密着卸として地域の皆様と連携し、活動を広げています。

【全国の取組状況（敬称略）】

- 北海道：トドック フードバンク
- 東北：フードバンク郡山そとね、フードバンクいしのまき
- 中部：セカンドハーベスト・名古屋、ささえる絆ネットワーク北陸
- 中国：フードバンク「ゆるティ」
- 九州：福岡県フードバンク協議会、フードバンクかごしま

国分東北よりお届けの食品を搬入



国分東北よりフードバンクいしのまき様へ
お届けの食品を搬入

セカンドハーベスト・名古屋へ食品寄贈



左：国分中部 人事総務部 西川さん
右：セカンドハーベスト・名古屋 事務局 西澤聖様

鹿児島支店より食品類をお届け



左：フードバンクかごしま 藤原様
右：国分九州 第三支社鹿児島支店 向川さん

～国分九州 鹿児島支店 向川さんの声～

「フードバンクかごしま」様は鹿児島県内の児童養護施設や母子寡婦支援施設、路上生活者支援団体、高齢者生活支援団体などへ食品を届ける活動を行っています。我々も食品を扱う事業者として「フードバンクかごしま」様の社会貢献活動、フードロス削減活動に賛同し最大限の協力をさせて頂いております。支援を受けた施設・団体からの感謝のお手紙はお金では買えない商人としての“働きがい”にも繋がっています。

お客様満足

問屋 国分ネット卸で介護施設での生活の質向上に寄与

「買い物難民」は、山間部や離島に住む方だけでなく、都会にも高齢や身体に不調があるなどといったさまざまな理由で存在します。

国分グループはそういった皆さまにも豊かな食を届けるため、「問屋国分ネット卸」を展開しています。アイテム数が豊富かつ小ロットでも日本各地への配送が可能で、離島や介護施設向けに食品を届けています。

介護施設では介護用品といった必需品以外に、おやつなどの需要が高くなっています。

豊かな食は生活の質を向上させるものであるという認識のもと、今後もお客様のニーズに応じていきます。



小ロットでも配達可能な会員制仕入れサイト
「問屋 国分ネット卸」

従業員

国分ビジネスリーダー育成カレッジ

次世代を担う人材を計画的に育成するため、国分ビジネスリーダー育成カレッジを2018年度よりスタートしました。若手・中堅社員に成長の機会を与え、組織の活性化を図るため、自ら手を挙げる公募型の研修としています。半年間かけてビジネスの基礎を学んだ後、国分グループの具体的な経営課題に取り組み、練り込んだ課題解決プランを重要意思決定機関である経営会議にて発表するという実践的なプログラムです。

承認された解決プランは担当部門が引き継いで、実際のアクションへ落とし込まれます。現在は第4期生15名が切磋琢磨しながら、イノベーションを起こす活動をしています。



国分ビジネスリーダー育成カレッジ 第4期生